

仕事に関する情報が手に入る



就職支援イベント

入場無料

と き：7月16日（日） ところ：明石市立産業交流センター

就職をめざす学生、市民の皆さんを対象に、就職支援イベントを開催します。
仕事に関する情報が手に入るまたとないチャンス！！ふるってご参加ください。

- ① 就職支援セミナー 9:30～12:30
応募書類と面接に関するセミナーや職業興味検査による仕事の選び方、就職相談など
- ② 企業合同説明会 10:00～17:00
市内及び周辺の企業による会社説明 **参加企業 募集中**
- ③ パネルディスカッション 14:00～15:30
テーマ 「これからの企業選び ～男女ともに働きやすい職場とは？～」
男女共同参画社会づくりをめざす企業3社が取り組みと成果を発表。これからの企業選びのための必要条件を探ります。

□お問い合わせは (財) 明石市産業振興財団 ☎936-7915 ファク936-7916
主催/明石市・(財) 明石市産業振興財団 後援/明石公共職業安定所

産業技術交流セミナー

明石産業交流ミーティング(産業技術交流会)

明石地区には、その技術、経営手法などにより、活躍しておられる企業が数多くあります。今回は、画期的なばかりを市場に投入し、国体では馬術競技で7位に入賞された大和製衡(株)社長の“ものづくり”の実践、“技術との関わり”について話題提供していただきます。講演終了後には懇親会も予定しています。



川西 勝三
代表取締役社長

- ・日 時 平成18年7月27日（木）午後2時30分～5時30分
- ・場 所 明石市立産業交流センター5階 会議室2、3
- ・講 師 大和製衡株式会社 代表取締役社長 川西 勝三 氏
- ・参加費用 2,000円（ただし、意見交換懇親会参加料）
- ・定 員 40人
- ・申込先等 (財) 明石市産業振興財団 事務局
〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1-4-7
☎078-936-7915 ファク078-936-7916
E-mail : info@aicc.or.jp 等でお申し込み下さい。

柴田理事長を再任

去る5月26日に開催された理事会で、理事長に柴田達三氏（シバタ工業株式会社代表取締役会長）を再任、副理事長に中尾睦彦氏（明石工業高等専門学校テクノセンター長）と安藤正博氏（明石市産業振興部参与）が新たに選任されました。

なお、安藤副理事長は産業振興財団の常務理事も兼務されます。

就任は7月からの予定で、任期は2年です。

明石市指定管理者になりました

当財団は、本年の4月1日から明石市指定管理者として、明石市立産業交流センター、明石市立勤労福祉会館、明石市中高年齢労働者福祉センター（サンライフ明石）の管理運営をすることになりました。また、明石市南二見会館についても、市より委託を受けて管理運営をすることになりました。今後ともより一層サービスの向上に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

明石市立産業交流センター施設案内

(休館日は毎週月曜日)

	施設名	面積	席数		内容
1F	展示場 (コンベンションプラザ)	872㎡	---		見本市や展示会、新製品発表会・即売会や集会などに利用できるイベントホールです。 照明装置、音響装置を完備しています。
2F	多目的ホール (テクノスペース)	419㎡	イスだけの場合 252席	216席	各種交流フェア、レセプション、シンポジウム、映画など、幅広い利用が可能です。映像、音響、照明などを利用目的に合わせて制御できる附帯設備を備えています。
3F	OAルーム	80㎡	OA機器19台 (受講者用18台) (指導者用1台)		パソコン・ワープロなどのOA研修専用の施設です。
	情報ライブラリー		---		経営や技術関連の専門図書・雑誌・行政資料などが自由に閲覧できます。また、データベースによる情報提供や研修用ビデオソフトを貸し出しています。
4F	研修室1A・B・C(全面)	253㎡	イスと机の場合	144席	各種研修の場として活用できます。 (研修室1) 各種映像・マイク設備を備えており、映像機器を利用した多様な研修に対応できます。 また、可動間仕切りにより3分割使用できます。
	研修室1A	104㎡	//	60席	
	研修室1B	74㎡	//	39席	
	研修室1C	74㎡	//	39席	
	研修室2	80㎡	//	42席	
5F	会議室1	119㎡	イスと机の場合	28席	会議室専用のフロアです。市内企業や各種団体の会議や打合せなどに利用できます。 会議室1には各種映像、マイク設備を備えています。
	会議室2	110㎡	//	32席	
	会議室3	72㎡	//	20席	

明石市立勤労福祉会館施設案内

こんにちは。明石市立勤労福祉会館です。市役所の北、観光通り沿いに誕生して24年が過ぎました。この間、多くの方に利用していただいています。

さて皆さんご存知ですか？私、勤労福祉会館は、標記のとおり当財団のもとに新たなスタートをしました。知ってるよと言われる方、あ！！そうなのと言われる方、いろいろといらっしゃいますので改めまして自己紹介します。

私は、4階建ての体育館やトレーニング室を備えた市内在住者や市内で働く人達が、文化・教養・スポーツを通じて心と心の触れ合いを味わい充実した毎日にして頂くための施設として、昭和57年10月に現在の地に誕生しました。

それでは、ご案内しましょう。どうぞ正面玄関からお入りください。

1階です。ギャラリーフロアです。パネル展示・テーブル展示による写真・水彩画・水墨画等また、陶芸品・パッチワークや刺繍作品など日々の活動の成果を多くの人々にご覧頂いてはいかがでしょう。AM9:00からPM5:00まで1,600円です。

2階です。ステージの付いた広～いホールを中心にした会議室フロアです。社内での会議を社外とするのも新鮮で良いかも！10人から200人の会議やイベントが出来、また、楽器やコーラス等練習の出来る音楽室も用意しています。

3階です。ここは体育室です。バレーコート2面分の広さがありバレーボールやバドミントン・卓球などやバトン練習、踊りの練習にも利用して頂いています。1日4,400円から12,300円、利用時間も午前・午後・夜間と分けて利用可能です。

4階です。トレーニング室です。気軽に楽しく汗を流してみませんか？会員制です。安全に利用して頂くため2時間程度の講座を受けていただけます。入会後は、1回400円の11枚回数券にて利用頂けます。

詳しくは、お電話でも気軽におかけください。待ってます。あ！！忘れるところでした！

火曜日は、私の休館日となっています。

おわかり頂けましたか？これからも多くの方々に気持ちよく楽しく利用して頂けるように新米スタッフ全員はりきっています。よろしくお願いいたします。

明石市立中高年齢労働者福祉センター施設案内

明石市立中高年齢労働者福祉センター（サンライフ明石）は、中高年齢労働者等に職業情報の提供等や心身の健康保持、体力の増強及び教養文化の向上のため、昭和61年に開設されました。

施設の内容は、1階に職業情報展示コーナー、体育室(416㎡・定員200人)、事務室、2階に職業講習室(50㎡・定員20人)、教養・文化室(和室18畳・定員24人)、研修室(84㎡・定員48人)、会議室(40㎡・定員12人)、図書室、3階にトレーニング室(186㎡)、走路(80m)があります。

体育室はバレーボール1面、バドミントンでは2面、卓球台なら8台の使用が可能です。

トレーニング室にはエアロバイク等各種トレーニングマシンの設備があります。(事前に講座を受けてから利用いただけます)

休館日は、毎週月曜日。利用時間は、午前9時～午後9時(日曜・祝日は午前9時～午後5時)。

利用申し込みは、体育室は3か月前の月初めに抽選で、その後は先着順。職業講習室、教養・文化室、研修室、会議室は6か月前の月初めから先着順に受付します。

場所はJR西明石駅東口を南へ約5分と足の便利さが絶好です。皆様のご利用をお待ちしています。

お父さん・お母さん等のサイズに合わせた
長靴づくりを体験してみませんか…

ものづくり体験学習教室

シバタ工業株式会社で、ものづくりの第一線で働く、優れた技術者等からものづくりに対するこだわりや技術を聞くとともに体験することにより、ものづくりの魅力を知る機会をもっていただきます。

小学3年生以上の小学生を対象に、親子でものづくり体験学習教室を実施しますので、必ず親子で参加してください。

参加者のご案内

日 時	平成18年7月26日(水) 午後1時~5時 平成18年7月27日(木) 午後1時~5時	定 員	親子5組10人(両日とも同じ組、人数)
体験学習場所	シバタ工業株式会社(明石市魚住町中尾1058) 長靴づくり(サイズ22.0~32.0cm 1足/組)	参加料	1組につき500円
集合場所	山陽電鉄 魚住駅前(12時40分集合)	主催	明石市・(財)明石市産業振興財団
対 象	市内小学校3~6年生の児童とその親(各1人、計2人)	申込み	7月5日(水)午前9時から、明石市産業振興財団(☎936-7915)で先着順に電話で受け付け

人材育成セミナー

中国語教室(中国語会話初級)

中国の経済的発展はめざましく、わが国にとって商工業を始めとして今後ますます交流がひろがり、市内各企業においても、中国語を話す機会が増えてくることが予想されます。

そこで、小人数で中国人講師からわかりやすく生きた会話を学ぶことができる中国語教室を開催します。発音を中心とした基礎的な内容にビジネス的な要素も取り入れていますので、未経験だけれど中国語に興味があってこれから学びたいという人や、すでに学んでいるけれど仕事で役立つように更なるステップアップをしたいという人は奮ってご参加ください!

- ・日 時 平成18年7月1日(土)~9月2日(土)
毎週土曜日(全10回) 午前10時~11時30分
- ・場 所 明石市立産業交流センター 5階会議室3
- ・講 師 有川 けい 氏
- ・定 員 15人(先着順)
- ・受講料 15,000円(10回分。テキスト代は別)
- ・申込み ☎078-936-7915またはFAX078-936-7916
でお申込みください。

※講師略歴

中国北京市出身の女性。中国河北大学外国語学院で日本語を専門に学ぶ。卒業後、講師、貿易会社の翻訳、通訳を経て来日。現在、アキラ翻訳中国語学院を設立し、関西圏を中心に、翻訳、通訳、語学など中国語関連事務を取り扱う。

【資格】日本語能力試験1級、中国語検定試験1級資格取得

産業交流センターパソコン教室

産業交流センターでは、市内企業等のO A化普及に伴う企業の人材育成、新人研修、個人の能力アップを目的に各種パソコン教室を開催しています。最新のコース案内は明石市産業振興財団ホームページ(<http://www.aicc.or.jp>)の事業内容をクリックして下さい。お申込みをお待ちしています。



発明・特許相談業務を開始

明石市産業振興財団では、産業交流センターで6月から発明・特許相談業務を開始します。

相談業務の内容は、産業財産権(特許、実用新案、意匠、商標など)の制度や手続きに関する発明相談です。

相談に応じるのは、(社)発明協会兵庫県支部兵庫県発明協会より派遣された職員が担当します。

相談日は、毎週第2・第4土曜日の午後1時から4時までです。なお、相談は無料です。

6月は、10日・24日です。皆様のご利用をお待ちしています。

新しい科学・技術用語の解説 「ラピッドプロトタイピング技術」

ラピッドプロトタイピング(RP)とは、その名の通り、ラピッド(迅速に)プロトタイピング(試作品を作る)技術のことを言い、三次元CADで作成した形状の確認や試作などに広く用いられています。三次元CADで作成した形状データからスライスして得られる断面形状を重ね合わせていく(積層する)ことによって、試作品を作製します(図参照)。

RPはその積層する方法により分類され、方法により材質や特性が異なります。代表的なものを次に示します。

- ・光造形法:紫外線硬化樹脂にレーザー光を照射し、硬化させながら積層する。
- ・粉末焼結法:粉末をシート状に敷き、レーザーにより焼結し、積層する。
- ・シート積層法:紙、樹脂などのシートをレーザーやカッターで切断し、積層する。
- ・インクジェット法:ワックスなど液化した材料をインクジェット法で噴射し、堆積積層する。
- ・押し出し法:軟化させた樹脂などをノズルから押し出し、積層する。

RP技術の特徴としては①プリンター感覚で三次元データを直接造形できる。②加工条件の検討や段取りなど専門的知識が不要。③内部形状を含む複雑形状でも簡単に造形が出来る。などが挙げられます。

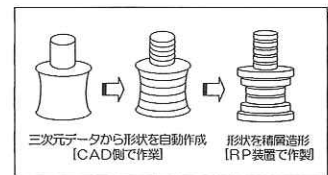
現状は、製品開発における製品形状の確認、検討(モックアップ)が主ですが、一部では、製品に近い(あるいは同じ)材料での性能評価や実製品を作製・販売を行っているケースも出てきています。今後、造形可能な材料の種類拡大や精度の向上などが進み、実製品の製造技術として発展が期待されています。また工業技術センターで開発を行っているRP技術を用いた精密鑄造法のように、他の製造技術とRPとの連携による新しい製造技術も期待されています。

RP技術を理解するには、「百聞は一見にしかず」です。下記、県内施設にRP装置を見学、利用ができますので、実際に造形プロセスあるいは造形品を見られるとよく理解できると思います。

◆兵庫県立工業技術センター:紙積層(シート積層)、粉末積層(粉末を接着剤で固化する方式)造形装置

◆兵庫県立先端科学技術支援センター:レーザー粉末焼結装置

◆(財)新産業創造研究機構、近畿高エネルギー加工技術研究所:樹脂造形装置(押し出し法)



粉末積層法により造形したモデル例
(なじやベアリングなど通常の手法では困難な形状が一度のプロセスで作製できます)

解説者 兵庫県立工業技術センター 材料技術部 兼吉 高宏 氏

会社拝見

Vol.28

80件、国内400件以上に及んでいます。

また、「財団法人 吉田科学技術財団」「財団法人 兵庫県科学技術振興財団」を運営し、時代を担う国際レベルの研究者育成にも積極的なサポートを続けています。

Q：御社の経営理念をお聞かせください。

A：『水と空気を科学する』ハニ一化成の基本理念です。

資源の乏しいわが国が生成発展して行く道は、優れた技術開発を有効に進めて行く以外にありません。この創業から一貫した信念は、今もハニ一化成の開発思想になっています。地球資源が生み出した素材や商品に、より優れた価値を加えることが私たちの仕事です。

ハニ一化成は地球規模で省資源を考えています。また、ハニ一化成は優れた技術を通して人類の平和と生活の向上を願っています。目に見えぬ技術の開発にかけた企業の夢—高い理想がそこにあります。果てしない新技術の開発に挑戦する姿はそうした理想の実現に立ち向かう技術者集団の誇りです。

Q：御社のセールスポイントをお聞かせください。

A：『多彩なテクノロジーの相乗作用が、新しい「表面処理」を現実のものにします。』私たちハニ一化成は夢を実現するため、表面処理技術で人々の暮らしに貢献します。例えば合成皮革、プラスチックなどに自然な風合いや感触、光沢を与え、美しさとおしゃれ感をもたらしているのもハニ一化成の表面処理技術です。

かつて、アルマイト（酸化アルミ）は電気を通さない絶縁体であり、電気泳動法（電着塗装）は不可能であるというのが常識でした。しかし、この不可能にあえて挑戦し、世界で初めてアルマイトへの電着塗装を開発しました。これが特許技術ハニライトプロセスです。アルミニウム表面処理の基本的な技術として定着しています。

斬新なアイデアを、膨大な実験データで裏付けし、その妥当性と整合性を実証して行く…。ハニ一化成はそんな技術集団です。

Q：「モノづくり」に対するこだわりについてお聞かせください。

A：私たちは表面処理剤の専門家です。そして役割は高精度の表面処理剤を開発し、お客様にお届けすることです。しかし、単に処理剤だけでなく、お客様に表面処理技術を同時に提供しています。50年間の豊富な経験と集積されたデータから培われた最新のノウハウをあわせて提案しています。

常に新しい開発目標を目指すとともに、品質、コスト、納期、アフターサービスのすべての面でご満足いただくために研究開発と生産、品質管理、営業が一体となった体制を整えています。また納入された製品については、継続してサンプル管理を実施、お客様からのご要望にすばやくお応えしています。

Q：今後の事業展開をお聞かせください。

A：『高度な固有技術を基盤とする技術開発型企業へ』そして『創造性を発揮できる自由闊達で人間性豊かな企業風土』へ展開して行きます。



代表取締役 社長
吉田 眞也 氏

ハニ一化成株式会社概要

代表取締役 社長 吉田 眞也
所在地 神戸市長田区日吉町3丁目1番33号
資本金 4億8,000万円
明石事業所 明石市二見町福里704番地
ホームページURL <http://www.honny.co.jp/>



(明石事業所全景)

直接企業訪問による技術相談

兵庫県立工業技術センターでは、平成18年7～9月に明石地区製造業事業所を訪問して技術面での支援を行います。この機会に是非ご相談ください。

工業技術センター利用で ステップアップ

問い合わせ先：

兵庫県立工業技術センター 技術支援部 078-731-4486
明石市産業振興部商工労政課 (谷田) 078-918-5098
財団法人明石市産業振興財団 事業係 078-936-7915

技術的課題について
研究者からアドバイスを
受けることができます



資金や設備を必要とする
開発や試験に取組むこと
ができます

自らの技術や製品開発
能力の向上につながり
ます

企業の研究員、技術者の
能力が向上！
人材育成につながります

明石市工業実態調査へのご協力ありがとうございました

明石市では、昨年11月に市内のすべての製造業事業所を対象に、事業所の事業実態や操業環境、課題等について郵送によるアンケート調査を行いました。

有効配布数695通に対し、395事業所（回収率56.8%）からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。これらの結果を踏まえ、今後明石市では他の産業支援機関と連携して、市内産業振興に取組んでまいります。これからも事業所の皆様の積極的な参画や協力をお願い申し上げます。

調査結果の詳細は、明石市のホームページでご覧いただけます。

ULR：<http://www.city.akashi.hyogo.jp/>

明石市産業振興部商工労政課

産業振興財団NEWS

発行日 第31号

2006年（平成18年）6月1日

発行

財団法人 明石市産業振興財団
明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7
(明石市立産業交流センター内)

☎078-936-7915

☎078-936-7916

E-mail：info@aicc.or.jp

<http://www.aicc.or.jp>

○ 当財団の機関誌「AICCNEWS」の発行は、財団設立（平成10年9月30日）後、産業交流センターがオープンした11月12日発行の創刊号が出発でした。以来前回の第30号に至るまで、経済産業動向、財団事業案内等に関する情報を提供してまいりました。

○ このたび発行の第31号からは、本年4月1日より、当財団が明石市指定管理者として、市の施設である3館（明石市立産業交流センター、明石市立労働福祉会館、明石市立中高年齢労働者福祉センター）の管理運営を行うことになったことから、従来の「AICC NEWS」（産業交流センターを主体とした情報提供）から活動範囲を広げ、3館の事業内容や管理運営の情報を盛り込んだ「産業振興財団NEWS」として新たなスタートをすることになりました。今後ともより一層親しまれ、役立つ紙面づくりをこころがけてまいりますので、よろしく願いいたします。

明石市立産業交流 センター1F

喫茶カフェ/アール



コーヒー 300円

モーニングセット

ランチセット

各707へ出前致します (内税213)